

～「横浜発都市ソリューション」による海外インフラビジネス展開～ 企業・分野の垣根を越えた都市ソリューションの検討を加速します

横浜市 Y-PORT 事業では、市内企業と連携しながら海外都市等でのインフラ事業や環境改善事業の形成に取り組んでいます。海外連携都市の開発マスタープラン策定への協力等を通じて、現地ニーズ等を収集しています。昨年度からこれらの情報等を基に、インフラビジネス展開に向けた横浜の競争力を更に高めるために「横浜発都市ソリューション」を検討してきました。昨年度は廃棄物・リサイクル、省エネ、水処理の3分野について検討を行い、検討結果をパンフレットにとりまとめました。

先までお問い合わせください。本稿では、今年度末までの活動予定を紹介します。

1. 本年度の横浜発都市ソリューション検討

今年度、まず昨年度の検討結果や現地の最新の開発動向を踏まえて、より具体的な横浜発都市ソリューション構想を立案します。対象都市は、横浜市が「持続可能な都市開発に向けた技術協力に関する覚書」を締結している、ベトナム国ダナン市、インドネシア国バタム市、フィリピン国セブ市の3都市の予定です。これら都市への提案内容を、「横浜発都市ソリューション分科会」等において企業の皆様と一緒に作成し、各都市での会議等において対話を重ね、年度末までに具体的な案件化を目指した都市ソリューションとして、とりまとめます。



① 横浜発都市ソリューションの仮説立案	② 企業との都市ソリューション構想の共創	③ 都市ソリューション構想の各都市への提案・対話	④ 現地調査を踏まえた横浜発都市ソリューションのとりまとめ
～12月中旬	～2月 12月：バタム、ダナン 1月～2月：セブ	～3月 12月：ダナン 1月：バタム 3月：セブ	～3月

本年度事業の検討ステップ・時期

今年度のキックオフとして、第23回 Y-Port ワークショップ（11月17日（金）パシフィコ横浜）を開催し、企業の皆様にお集まりいただき、今年度の取り組みの全体像についてご説明するとともに、分科会（12月5日）およびダナン年都市開発フォーラム（12月21日・22日）のご案内をいたしました。企業の皆様のご参加を待ちしております。

また、ワークショップでは、今年度の検討を進める視点として、3つのポイントについて皆様に共有いたしました。

昨年度事業成果であるパンフレット

※Y-port ウェブサイトよりダウンロード頂けます。
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/yport/pdf/jp-pamphletinnovativeurbansolutiondevelopedbyyokohama.pdf>

今年度も、企業の皆様と一緒に、海外都市への提案を作成する取り組みを進めます。本検討は企業の皆様との情報交換が最も重要であるため、検討状況をニュースレターで配信しながら進めます。ご関心のある企業の皆様は随時、裏面の連絡



第23回 Y-PORT ワークショップにおける発表の様様

① 現地ニーズの広がり・多様化・包括化

横浜市に寄せられる現地ニーズについては、連携都市等の現地行政機関からだけでなく、現地の民間企業（工業団地開発者やホテル・ビルオーナー等）からの協力要請に広がってきています。

→ベトナム・ダナン市、インドネシア・バタム市、フィリピン・セブ市における合同調査・ビジネスマッチングの機会を活用し、各都市や現地企業等への事業提案・対話の場を提供します。12月21日、22日に開催のベトナム・ダナン市について募集を開始しました（後段をご覧ください）

今年度の現地調査・セミナーには、現地企業等の参加促進にも努め、ビジネスマッチング機会をより高めてまいります。

② セクター間の壁の打破

相手都市の課題に即した解決策を提供するためには、個別技術に加えて、包括的な「パッケージ型の提案」も求められています。このため、多様な対象・課題に応じた「パッケージ」を作成するために、現地課題を十分に理解したうえで素案レベルから対話を重ねて、提案を具体化且つ競争力を高めていくことが重要になっています。

さらに、現地課題に対応したパッケージ型の提案のためには、企業や分野を超えたアイデアや技術・サービスの組合せについて議論を行い、提案を行う試みが必要です。

→各都市への提案を議論する「横浜発都市ソリューション検討会」を開催します。第1回は12月5日にダナン市、バタム市への提案内容について議論します。（後段をご覧ください）

③ 新規性の高い提案

各都市の開発を支援しているドナー（アジア開発銀行、世界銀行、JICA等）からは、従来の方法にとらわれず、気候変動やICT等の活用といった新規性の高い提案が求められています。ソリューションの提案において、新規性を高め、各ドナーからの評価や資金援助を得ていくことが重要です。そのためには、企業や分野横断的な積極的な情報交換や、ドナーへの直接の提案や対話が有効です。

→検討した都市ソリューションについて、運営管理の効率化の視点によるICTの積極的な活用などを検討し、ドナー等との情報共有を進めていきます。

2. 横浜発都市ソリューション検討分科会への参加企業の募集

本年度各都市に提案する横浜発都市ソリューションについて、関心を有する企業の皆様とテーマ別のワークショップ形式で議論を行い、一緒に作り上げる検討会を開催します。

第1回の検討会を12月5日に開催しますので皆様のご参加をお待ちしております。

■第1回横浜発都市ソリューション検討分科会

日時：平成29年12月5日（火）14:00～

場所：パシフィコ横浜 6F 会議室

・ベトナム・ダナン市、インドネシア・バタム市における合同調査・ビジネスマッチングの機会に各都市に対して提案する「横浜発都市ソリューション」のパッケージを企業の皆様との議論を通して作成します。

・以下の3テーマについて、グループに分かれて議論を行い、最終的に提案の素案となる「都

市ソリューション構想」を作成します。

＜分科会テーマ＞

テーマ①：廃棄物・リサイクル分野

テーマ②：地区開発分野

テーマ③：省エネ分野

※詳細について横浜市国際局 Y-port 事業ウェブサイトをご覧ください

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/yport/pdf/20171205solution.pdf>

■申込み先：事務局（三菱総合研究所）

y-port@ml.mri.co.jp 宛に下記の内容を記載の上、電子メールを御送信ください。（11月28日(火)応募締切予定）

(1)会社名

(2)所属

(3)氏名・役職

(4)参加を希望するテーマ①～③

(5)ベトナム・ダナン（平成29年12月予定）及びインドネシア・バタム

（平成30年1月予定）合同調査への参加予定

3. 第7回ダナン都市開発フォーラムへの参加企業の募集

横浜市と都市づくりに関する覚書を締結しているダナン市/ベトナム社会主義共和国にて、12月21日(木)ダナン市インフラ施設視察、22日(金)第7回ダナン都市開発フォーラム(ビジネスマッチングセミナー)を開催します。

皆様のご参加をお待ちしております。

（12月8日（金）応募締切予定）

■ダナン市現地調査及びダナン都市開発フォーラムダナン都市開発フォーラム

日程：

12月21日(木) ダナン市インフラ施設視察

12月22日(金) 第7回ダナン都市開発フォーラム(ビジネスマッチングセミナー)

場所：ベトナム国ダナン市

参加費：参加事業者の日本からベトナムへの渡航費、滞在費、海外旅行保険費用等に係る経費は各事業者の御負担となります

※詳細について横浜市国際局 Y-port 事業ウェブサイトをご覧ください

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/yport/20171221-22danang.html>

4. 今後の現地合同調査・ビジネスマッチングについて

今後の現地合同調査・ビジネスマッチングについては、インドネシア・バタム市を1月中下旬、フィリピン・セブ市を3月初旬に予定しております。改めて詳細および募集についてのご案内をいたしますのでよろしくおねがいたします。

5. その他

今年度の「横浜発都市ソリューション」の検討は、「平成29年度新興国都市の開発事業における横浜市内企業の技術・製品を活用した都市ソリューションの検討業務」として、株式会社三菱総合研究所（東京都千代田区）を委託業者として進めます。

本調査にご関心のある企業の皆様は、Y-PORTセンター事務局あるいは委託先企業にお問い合わせ下さい。

横浜市国際局国際協力課
〒231-0015 横浜市中区尾上町1-8

関内新井ビル3階
Tel: 045-671-4396 Fax: 045-664-7145
E-mail: ki-yport@city.yokohama.jp

(株)三菱総合研究所環境・エネルギー事業本部
担当：遠藤、新井、岩田
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
(部署代表)：03-6705-6032
FAX: 03-5157-2146
e-mail: y-port@ml.mri.co.jp